

【最優秀賞】松山地方法務局長賞

「ぼくを変えた一言」

新居浜市立中萩小学校 6年 白川 貴弓

ぼくの家族には障がいのある姉がいる。しゃべりにくく「あー」や「うー」で話す。ぼくは、姉のことを友達に言えなかった。いじめられそうでこわかったからだ。

授業で支援学校の人との交流のとき姉に抱きつかれ、「見られたくないな。」と思った。だけど、友達は「仲がいいんだね。」と言ったので、ほっとした。その時に、人はみんな同じ「ひと」なんだと思った。姉を差別していたのは、ぼくかもしれない。